

6月21日の国内株式市場の下落について 米国の利上げ前倒しは「苦あれば楽あり」か

2021年6月21日

米国の利上げ前倒しに警戒感強まり大幅安

6月21日の国内株式市場は、日経平均株価が3.29%下落、TOPIX（東証株価指数）が2.42%下落するなど大幅安となりました。前週末の米国株式市場はNYダウが1.58%下落するなど比較的大きく下げしており、その影響を受けたとみられます。

前週末の米国株安の主な要因は、セントルイス連銀のブラード総裁が2022年後半の利上げの可能性に言及したことです。6月15-16日のFOMC（米国連邦公開市場委員会）では、委員の見通しの中央値として2023年に2回の利上げが示され市場にサプライズをもたらしましたが、それをさらに前倒しするような発言に市場が敏感に反応したようです。日本株が米国株よりも下落したのは、大幅な変動の際は米国株以上に日本株が動きやすいという経験則が影響したのではないかと思われます。

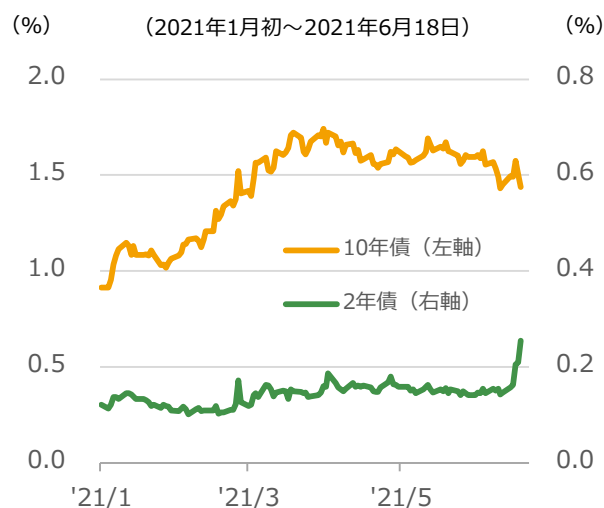
株式市場では米国の利上げ前倒しへの警戒感が高まりましたが、米国債券市場をみると政策金利の見通しを敏感に反映する2年国債利回りが上昇する一方、10年国債利回りは低下しています。これは利上げが前倒しされた場合、将来のインフレリスクなどが軽減されるとの見方が反映された結果と思われます。利上げ自体は株式市場にマイナスの面がありますが、前倒しされることによって中長期的かつ安定的な景気拡大が保たれたり、将来の急激な利上げが回避できたりするのであれば、株式市場にマイナス面ばかりではありません。「苦（利上げ）あれば楽あり」の可能性にも留意したいところです。

日本の株価指数の推移



(出所) ブルームバーグ

米国国債利回りの推移



(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行なう場合、約定代金に対して最大 1.26500%（但し、最低 2,750 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては約定代金に対して最大 0.99000%の国内取次手数料（税込）に加え、現地情勢等に応じて決定される現地手数料および税金等が必要となります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動（裏付け資産の価格や収益力の変動を含みます）による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行なうにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行なうことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された購入時手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行なわれていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 / 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会